

環境と共生する持続可能なまちづくりに向けて

ードイツにおける経験からー

現在気候変動(地球の温暖化)が大きな国際問題になっています。今年北海道洞爺湖で開催されるサミットにおいても温室効果ガスの削減に向けてどのような国際協調を進めていくのかが大きなテーマになるでしょう。しかし、温暖化問題への対応は国や企業だけでなく地域や住民も含めた広範なレベルで実践的に進めていかなければいけないテーマです。今回のセミナーでは、地域として環境問題にしっかり向き合い、そこから持続的なまちづくりを進めているドイツの都市政策の事例を報告します。

また、ドイツ西北部にあるルール地域は60年代までは石炭、鉄鋼等重化学工業地帯で隆盛を極めた地域ですが、その後は構造改革に乗り遅れ衰退をたどりました。しかし90年代になって、IBAエムシャーパークと呼ばれる環境再生プロジェクトによって、環境再生と産業遺産を活用した魅力ある地域として見事に復興しており、その現状を紹介します。

環境問題に地域の一人ひとりがどのように向き合っていけばいいのか。あらためて考える契機にしていいただければ幸いです。

と き：平成20年2月7日(木)

午後2時～午後4時30分まで

ところ：釧路公立大学2階 202視聴覚室

報告者：小磯 修二(釧路公立大学地域経済研究センター長)

関口麻奈美(釧路公立大学地域経済研究センター客員研究員)

参加料は無料ですが、参加をご希望の方は、事前にファクシミリまたは電子メールにてお申し込みください。

●参加申し込み・お問い合わせ

釧路公立大学地域経済研究センター

〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号

電話 0154(37)5325 Fax 0154(37)5376

E-mail r-center@kushiro-pu.ac.jp

環境と共生する持続可能なまちづくりに向けて ードイツにおける経験からー

<プログラム>

14:00～14:40

I ルール地域・IBAエムシャーパークによる地域再生

疲弊した石炭・鉄鋼産業地域から
環境再生・産業文化地域への復興
の歩みと現況を紹介



II 環境と共生する都市政策への挑戦

ー 地球温暖化に地域はどのように向き合うか ー

14:40～15:20

1 フライブルグ市の事例

ドイツで最も早くから環境政策に
取り組み、その取り組みは世界から
注目されているフライブルグ市の
環境政策、エネルギー政策、交通政
策等を紹介



15:20～16:00

2 ミュンスター市の事例

ミュンスター市は自転車の町とし
て有名だが、最近では環境首都に
選ばれるなど、独自の環境政策を
展開しており、その取り組みを紹介



16:00～16:30

質疑 等